



國學院大學経済学部・國學院大學労供研究会 共催シンポジウム

## 「労働組合による労働者供給事業の可能性 —非正規労働問題の解決へ向けて—」

● 日時：2012年2月23日（木）

16:00～17:30 第1部：労組労供とは何か

- ①「労組労供の実態」報告者：本田一成（國學院大學教授・労供研究会事務局長）
- ②「労組労供をめぐる法的諸問題」報告者：武井寛（甲南大学教授）

18:30～20:30 第2部：労働組合による労働者供給事業の可能性

—非正規労働問題の解決へ向けて—

- ①基調報告「労働組合による労働者供給事業の可能性—非正規労働問題の解決へ向けて—」  
報告者：橋元秀一（國學院大學教授・労供研究会座長）

②パネルディスカッション

パネリスト：橋元秀一

伊藤彰信（労働者供給事業関連労働組合協議会議長）

濱口桂一郎（労働政策研究・研修機構統括研究員）

山根木晴久（日本労働組合総連合会総合組織局総局長）

● 会場：國學院大學渋谷キャンパス 学術メディアセンター（AMC）1階 常磐松ホール

※詳しくは裏面をご覧ください。

● 参加費：無料（事前申し込み不要、当日会場にお越しください）



國學院大學労供研究会では、2年半の研究活動の最終年度にあたり、國學院大學経済学部と共催でシンポジウムを開催します。

わが国では、派遣労働やパート労働など非正規労働問題が大きな注目を集めています。当研究会は、この問題の改善や解決を視野にいれて、労働組合による労働者供給事業（労組労供）について研究してきた成果を広く発表したいと思います。

第1部では、職業安定法で認められた働き方であるにも関わらずほとんど一般に知られていない労組労供とはどのようなものかをわかりやすく解説報告します。

第2部では、労組労供がどのような可能性をもち、非正規労働問題を解決する上で、どのような役割を果たしうるのかという視点から、研究会報告書の成果を中心とした基調報告と、非正規問題に詳しいパネリストをまじえた議論を行います。

非正規労働問題は、その実態把握や問題点の指摘は多いものの、その解決策となると現実的な決定打がないまま事態が悪化しています。みなさん、まったく新しい視点から、非正規労働問題の解決策を考えてみませんか。なお、シンポジウムの参加者には、研究会報告書をお渡しします。どうか多数のご参加をお待ちしております。

# 渋谷キャンパス

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28



東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學渋谷キャンパス AMC1階 常磐松ホール  
 電話 03 5466 0342 (國學院大學経済学部資料室)

(JR・東京メトロ渋谷駅、東京メトロ表参道駅、JR・東京メトロ恵比寿駅から徒歩約15分、  
 渋谷駅東口より都バス「日赤医療センター行」で約8分「國學院大學前」下車、  
 どちらの信号も渡らず左のビル)

# 渋谷キャンパス

